

報道関係各位

株式会社名古屋銀行 経営企画部
小嶋・倉田 Tel : 052-962-7996

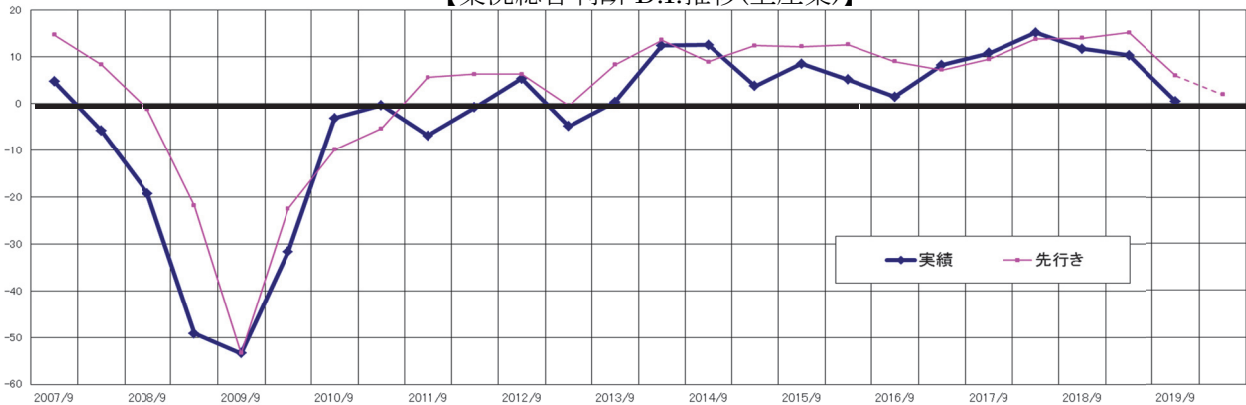
第139回 東海地区三県下(愛知・岐阜・静岡)の企業経営動向調査

- ✓全産業の業況総合判断 D.I.は13期連続でプラスとなるも、3期連続で低下した。また、前回先行き D.I.に対して今回 D.I.実績が下回っており、その差も3期連続で大きくなっている。
- ✓経営者心理の悪化要因は米中貿易問題や日韓関係の悪化によるものが多い。
- ✓先行きについては、2019年度上期実績 0.4 から 1.5 ポイント改善し 1.9 となる見通し。

《ポイント》

- ✓業況総合判断 D.I.実績は建設・不動産業、サービス業を除きマイナス。建設・不動産業はプラスであったものの大幅に低下。先行きについては製造業、小売業を除いてプラス。
- ✓収益 D.I.実績は、サービス業以外の業種で前回は低下しており、製造業、卸売業、小売業ではマイナスとなっている。これは売上高 D.I.の低下が要因。
- ✓設備投資 D.I.は、実績、見込ともマイナスとなる。運輸・倉庫業を除く業種で売上・受注不振が経営上の課題として挙げる割合が上昇しているため、リスク回避の経営者心理が働いている。
- ✓経営上の課題は、全ての業種において採用難が1位であることは前回調査とは変わらないものの、人材の育成や売上・受注不振の占める割合が増加している。

【業況総合判断 D.I.推移(全産業)】



(注)「D.I.」:『好転』企業の割合と『悪化』企業の割合の差、見通しは半年先の予想

【経営上の課題】

	1位		2位		3位		4位		5位	
	課題	%	課題	%	課題	%	課題	%	課題	%
全産業	採用難	32.8 (40.6)	人材の育成	21.5 (19.1)	売上・受注不振	13.4 (9.5)	新事業展開・技術開発	6.2 (5.6)	人件費高騰	4.0 (3.1)
製造業	採用難	26.5 (34.8)	人材の育成	20.2 (18.3)	売上・受注不振	17.8 (13.2)	新事業展開・技術開発	6.5 (6.5)	設備の不足・老朽化	5.6 (3.5)
卸売業	採用難	25.0 (29.6)	人材の育成	21.8 (18.3)	売上・受注不振	16.0 (13.0)	新事業展開・技術開発	10.1 (5.9)	原材料高	3.7 (5.3)
小売業	採用難	25.0 (33.3)	売上・受注不振	21.2 (11.1)	人材の育成	19.2 (16.7)	人件費高騰	7.7 (1.9)	過当競争激化	5.8 (11.1)
建設・不動産業	採用難	43.5 (48.9)	人材の育成	24.7 (22.2)	売上・受注不振	7.6 (4.0)	事業承継	3.6 (-)	新事業展開・技術開発	3.1 (-)
運輸・倉庫業	採用難	55.1 (69.0)	人材の育成	13.0 (14.1)	人件費高騰	8.7 (5.6)	原材料高	5.8 (4.2)	設備の不足・老朽化	5.8 (-)
サービス業	採用難	37.6 (45.5)	人材の育成	24.3 (20.8)	売上・受注不振	8.8 (6.5)	新事業展開・技術開発	7.2 (9.1)	人件費高騰	5.0 (3.9)

(注)カッコ内は前回調査